



# 「エコ・エコプラザに 突撃取材!」

共に生きる—共に守る—共に育む

## 「エコ・エコプラザの成り立ち・運営状況」

エコ・エコプラザは、平成12年11月4日、大分市府内町・府内5番街にオープンしました。エコロジー（環境問題）と、エコノミー（消費者生活の向上）をテーマとした全国初の複合施設。大分市がNPO法人・府内エコロジーネット21に事業委託し、数多くの市民団体の協力を得て運営されています。

家庭内の不要品を展示・販売したり、リサイクル情報コーナーには、「売ります」「買います」の情報を掲示して、気軽に情報の交換が出来る仕組みになっています。

また、ビデオライブラリーや図書ブース、消費者相談コーナーを設けています。現在の利用者は女性客が大半を占めていますが、男性の方も大歓迎です。



館長  
芦刈 勝則さん

## 「体験学習の重要性」

牛乳パックから紙を漉いたり、古い布を裂いたものから機織りをしたり、無農薬の大豆から豆腐づくりを体験したり…と、様々な体験教室を展開していく予定です。

豆腐づくりは、大分県産の無農薬大豆を石臼でひいて、それを入れるざるも竹から手作りし、ざる豆腐を完成させる。「豆腐は何から出来ているんだろう」という素朴な疑問など、親子で話し合いつつ体験学習すれば、環境問題にとどまらずコミュニケーションの一助にもなりうるのではないのでしょうか。



紙すき体験をする日本語学校に留学中の皆さん。

体験により、環境全般について、より深い理解を得られます。

## 「まとめ」

時代の変化と共に、私たちはさまざまな負の遺産を生み出してしまいました。一体何を優先し、何を選択していけば良いのかさえも、一概には言えない難しさがあります。例えばペットボトルの再生一つをとってみても、コスト面、運送時の大気汚染による環境面などにおいて、必ずしも良いとは言えませんが、ただ手をこまねいているのでは何も変わらず、状況は悪くなる一方です。

環境という大きな問題が、実は私たちにとって最も身近な消費生活の中から、アプローチできるのだということを、再認識する時代に入ったのではないのでしょうか。消費者問題が女性だけの問題であるはずがありません。どちらかという、男性の参画が少ないこの問題に、少しでも多くの人に関心を持ち、行動を起こしていくことが望まれます。

## Check 共に生きる

21世紀は男女問わず誰もが「消費者」であるという認識を持つようになって欲しいと強く願います。

## Check 共に守る

物を捨てない、物を大切にするというのは、ゴミを出さないことにもつながります。日常生活の中から、地球全体の環境にまで誰もが思いをつなげる社会にならなくては。

## Check 共に育む

シンポジウムなども企画していくので、若者男女を問わずに、“何か”を感じ取って買えるような、情報の発信基地としての役割を担っていきたいと思っています。

大分市役所 文化会館

← 大分県庁 大分市役所 文化会館 大分県庁 →

NTT 大分支店 大分市役所 文化会館 大分県庁

← ココ →

府内5番街

- 開館時間 / 10:30～19:00
- 休館日 / 毎週水曜日(水曜日祭日の場合は翌日) 年末年始(12/29-1/3)
- 問い合わせ / 同プラザ:573-3770